

小学校・中学校向け



“はたらく”を考えるワークショップ



パーソルキャリアの小学校・中学校向けキャリア教育 講師派遣授業（出前授業）

「“はたらく”を考えるワークショップ」、経済産業省 第11回「キャリア教育アワード」で優秀賞を受賞
パーソルキャリア株式会社 2021年12月17日

転職サービス「doda」などを提供するパーソルキャリア株式会社が全国の小学校・中学校に無償で提供しているキャリア教育 講師派遣授業（出前授業）「“はたらく”を考えるワークショップ」が、経済産業省が主催する「第11回 キャリア教育アワード」の優秀賞（大企業の部）を受賞しましたので、お知らせします。

「小・中学校向け “はたらく”を考えるワークショップ」の詳細は下記紹介サイトをご覧ください。

< <https://www.persol-career.co.jp/service/contents/career-workshop/> >

小学校・中学校向け



“はたらく”を考えるワークショップ



■経済産業省主催「キャリア教育アワード」について

「キャリア教育アワード」は、産業界による優れた教育支援活動の取組とその効果を広く社会で共有し、こうした活動を奨励・普及・促進することを目的として、企業や経済団体による教育支援の取組を公募し、優秀と認められる事例を表彰するものです。経済産業省が2010年度より実施しており、今年で11回目となります。第11回「キャリア教育アワード」及び受賞者については経済産業省のプレスリリースをご覧ください。

第11回「キャリア教育アワード」及び第10回「キャリア教育推進連携表彰」受賞者が決定しました！

< <https://www.meti.go.jp/press/2021/12/20211217002/20211217002.html> >

■本活動に関する審査コメント

本活動に関する審査コメント（以下）では、評価いただいたポイントもある中、今後、期待する改善ポイントもいただきました。今後、さらなる改善や新しいプログラム開発、アウトカム評価の工夫などを進め、子どもたちや教育の現場にとって価値のある授業を全国の学校に提供してまいります。

・転職が当たり前の時代に必要なスキルに着目し、転職を支援している現役キャリアアドバイザーと一緒に仕事について考える活動は、これからのキャリア観を醸成する上で貴重な機会となる。3つのプログラムが、対話やワークを通して、スキルだけではなくマインドを学ぶように良く構成されている。継続や普及を図る社内体制の構築も評価できる。

・授業後半年ぐらいの時期に先生との振り返りを行うなど、良い点がたくさんある。

・オーソドックスな取組ではあるが、教育段階に応じて「働くこと」について主体的に考えるきっかけをつくる堅実なプログラムは評価できる。オンラインでのワークショップやITリテラシーの活用、定量的評価といった工夫も見られる。

・非常によく考えられた企画。PDSA サイクルが機能している様子もみてとれる。今後のさらなる普及拡大に期待。

・絵を使うなど、児童生徒の興味関心を引き付ける工夫がみられる。2段階目で児童生徒と大人が真剣に話し合うとあるが、なかなか難しいと感じる。児童生徒にとっては未体験のことを、体験済みの大人と対等に議論できるのか、疑問である。もしそうした話し合いを行うなら体験後にするべきである。

・コロナ禍にあってもキャリア教育に貢献していることを高く評価する。

・プログラムを学校の要望に応じてカスタマイズされていることは高く評価されるべきであると感じた。一方、取組の軸となる活動が具体的に把握しにくく、小学生・中学生という発達段階の差をどのように捉えているのかについても説明が不足していたような印象を受けた。また、参加した児童生徒の変容・成長を捉えるためのアウトカム評価、とりわけKPIの設定に一層の工夫をしていただきたい。

・企業の強みと特徴を活かしたキャリア教育であり、専属部署を設置するなどの取り組みの本気度が高い。「働くこと」に真正面から取り組んだ点も評価できる。参加数も順調に拡大しており、質の高い内容であることも伺える。1年の長期キャリア教育プログラムにも期待したい。

■「小学校・中学校向け “はたらく” を考えるワークショップ」について

「“はたらく” を考えるワークショップ」は、パーソンキャリアが全国の小・中学校に無償で提供している小学4年生から中学3年生を対象にしたキャリア教育プログラムです。日々さまざまな人や企業の「はたらく」に向き合い続けるパーソンキャリアのキャリアアドバイザーらが講師を務め、現場で培った経験・知識をもとに、自ら主体的に判断しキャリアを形成していくための「生きる力」を養う授業を行っています。

2018年のワークショップ開始以来、全国延べ77回、3,363名の子どもたちに授業を提供しています。（2021年11月時点、リピータ校含む）

■プログラム内容

各学校の要望に応じて、業界研究プログラム「しごと市場」、職業体験プログラム「しごとリアル@キャリアアドバイザー」、2Dayプログラム、1Dayプログラム、カスタマイズプログラムを提供しています。

全てのプログラムで共通して、キャリアオーナーシップを身につけてもらうことを目的に、たくさんの職業を知ることの大切さや、「何に」なりたいたいかではなく「なぜ」なりたいたいかを考えることの大切さを伝えています。

また、2020年度以降は、オンラインにも対応。新型コロナウイルスの影響により「はたらく」の当たり前が変化しつつあるなか、これからの社会を自分らしく生き抜いていくために、子どもたちが今すべきことは何なのかについて一緒に考える時間も設けています。

このほか、ITリテラシー教育や食育、環境教育など他業種の企業の出前授業と組み合わせた企業間連携「生きる力」をはぐくむ講師派遣授業プログラムの開発・提供にも取り組んでいます。

■各プログラム紹介

①業界研究プログラム「しごと市場」

転職やサービス提供を通じて、実際にさまざまな業界を経験しているパーソンキャリアの社員たちがこれまで経験した業界や仕事のやりがい、最初に入社した会社から現在に至るまでのキャリアの変遷などを紹介。社員との対話を通じて、将来のキャリアについて考えていくプログラム

です。一度に複数の業界・業種の話聞くことができ、児童・生徒が興味のある分野を自分で選ぶことも可能です。転職という選択も含めたりアルなキャリアの築き方を知ることのできるのも本プログラムの特徴です。

対象学年：中学1年～3年生 ※小学生応相談

必要コマ数：3コマ

②職業体験プログラム「しごとリアル@キャリアアドバイザー」

パーソンキャリアのサービスを支える職種であるキャリアアドバイザーとして、転職希望者の情報を集め、最適な求人をご紹介するまでの流れを体験していただく職業体験プログラムです。架空の転職希望者のプロフィールから、希望者の転職やキャリアの軸を探り、希望にマッチする求人を探します。求人紹介を通じて、人材業界の仕事はもちろん、様々な業界や職種を学ぶことができるのも本プログラムの魅力です。オンラインにも対応。

対象学年：中学1年～3年生 ※小学生応相談

必要コマ数：2コマ

③2Dayプログラム

1回目の授業では、「世の中の流れ」「仕事や職業選択とは」などを中心に仕事や“はたらく”に対する考え方を広げていきます。2回目の授業では、さまざまな職業を知り、“はたらく”環境の中で信頼を得ていく重要性や、自立した大人になるための「主体性」を養っていきます。また、1回目と2回目の間には職種についての調べ学習を行い、子供たちが頑張って調べた内容を「お仕事ブック」として冊子にまとめ各学校へ提供しております。卒業文集を書く前の6年生や、これから仕事や“はたらく”について学び始める4～5年生に人気のプログラムです。オンラインにも対応。

対象学年：小学4～6年生

必要コマ数：2コマ×2回（合計4コマ）

④1Dayプログラム

2Dayプログラムの重要な要素を1回の授業の中に凝縮したプログラムです。仕事や職業選択とは何か、さまざまな職業を知っておくことの重要性などを、ワークショップを通じて体感できます。カリキュラム上、なかなか時間がとりにくい学校でも実施が可能です。

対象学年：小学4～6年生

必要コマ数：2コマ×1回（合計2コマ）

⑤カスタマイズプログラム

各地域、学校、学年によって課題や目標はさまざまです。カスタマイズプログラムでは、先生方と一緒に知恵を絞りながらそれぞれの目標を達成できるように授業提供やサポートを行います。授業の内容については、私たちが得意とするキャリア開発や人材育成分野の知識を交えながら、打ち合わせの中で決定し、各環境に適したプログラムをご提案させていただきます。

対象学年：小学4年生～中学3年生 ※高校生は要相談

必要コマ数：応相談

■本活動に対する当社の想い ～キャリア自律/キャリアオーナーシップがあふれる未来を目指して～

パーソンキャリアでは、一人々に「はたらく」を自分のものにする力を－をミッションとし、働く一人ひとりが自らの機会と可能性を正しく知り、選択し、行動できる「キャリア自律/キャリアオーナーシップがあふれる社会づくり」を進めています。その一環として取り組んでいるのが、全国の小・中学校に無償で提供している「“はたらく”を考えるワークショップ」です。

日本では、多くの子どもたちが「はたらく」に対して「大変そう」「忙しそう」といったイメージを持っていると言われていますが、本当にそれでいいのでしょうか――？子どもたちの「はたらく」をもっとワクワクするものに変えたい。子どもたちが自らの意志と責任で人生を選ぶこ

とができる世界をつくりたい。そんな想いのもと、私たちは活動を続けています。